

別紙2

実証運行の評価・検証評価項目（案）

評価・検証項目		把握内容	調査名
① 導入目的の達成状況	交通弱者の外出促進	○高齢者・障がい者・子育て世帯の外出頻度、外出先 ○外出頻度の変化、外出先の変化	・利用者アンケート
	主要交通拠点での路線バス等との接続	○主要交通拠点における路線バスとの乗継状況・行先	・利用者アンケート
	バス交通空白不便地域の一部解消	○利用者の住所	・利用状況調査 ・利用者アンケート
	地区内主要拠点（駅、市政窓口、コミセン等）へのアクセス向上	○三鷹台駅、井の頭公園駅、市政窓口、コミュニティ・センター等への発着回数 ○利用者の属性、行先、行先で使用した金額 ○利用者の移動距離	・利用状況調査 ・利用者アンケート
② 効果	利用者の満足度	○運行内容に対する評価 ○小型EVバス利用者の満足度変化	・利用者アンケート
	外出頻度・範囲の変化	○外出頻度の変化 ○外出先や生活圏の変化	・利用者アンケート
	買物等商業活性化貢献	○商業施設等利用者数の変化 ○買物先の変化 ○外出による経済効果	・利用者アンケート ・関係者ヒアリング
	健康増進貢献	○高齢利用者の外出頻度、外出先 ○外出頻度の変化、外出先の変化	・利用者アンケート
	コミュニティ創生貢献	○コミセンの利用状況やイベント等の参加の変化	・利用者アンケート ・関係者ヒアリング
③ 運行内容の妥当性	運行ルート・経由施設・バス停位置	○利用の多い曜日・時間帯	・利用状況調査 ・利用者アンケート
	運行時間・間隔	○時間帯別の利用状況 ○待ち時間（定時性）に対する意見	・利用状況調査 ・利用者アンケート
	運行曜日	○曜日別の利用状況 ○運行曜日の要望	・利用状況調査 ・利用者アンケート
	車両（サイズ・台数）	○最大車内人数、乗りこぼし状況 ○車両の使いやすさ、乗り心地	・利用状況調査 ・利用者アンケート ・関係者ヒアリング
	運賃設定（採算性、事業継続性）	○運賃に対する意向 ○運行費用、運賃収入 ○収支率の変化	・利用者アンケート ・関係者ヒアリング
	予約方法	○利用予約に対する抵抗感の変化	・利用者アンケート
安全性		○運行ルート上の危険箇所 ○天候、混雑時間帯による影響	・関係者ヒアリング
本運行に向けた課題		○収益性の確保、運行管理の改善、走行環境の改善、安全性の確保、道路渋滞の回避・解消など課題の洗い出しを行うとともに、他の地域への展開の可能性を検討する。	・関係者ヒアリング ・現地確認

(1) 利用状況調査

交通事業者やシステム事業者などから収集した利用実績等のデータ分析を定期的に行い、目標値等に基づく効果検証を行う。

<収集データ（案）>

- ・乗降者数（日別、乗降場所別の利用者数など）
- ・デマンド予約情報（利用者ナンバー、日時、予約方法、乗降場所など）

(2) 利用者アンケート

実証運行の登録者を対象にしたアンケートを実施する。登録者全員に対して、郵送やアプリにて配布・回収する。

【把握項目】下表のとおり

表 把握項目と設問項目（案）

把握項目	設問項目
利用状況の把握	利用目的、乗降ポイント、利用頻度、他の公共交通の利用頻度の変化、自宅から最寄りの乗降ポイントまでの距離と移動時間、往復利用の有無
運行見直しの効果把握	実証運行前の外出手段、実証運行前後の外出先の変化、 実証運行前後の外出頻度の変化 運行見直し後の外出先の変化、運行見直し後の外出頻度の変化
問題点・課題の把握	運行車両（使いやすさ・乗り心地）、運賃設定、アプリの使いやすさ、自動運転導入時の利用意向、運行内容に対する満足度、具体的な改善要望
基本属性の把握	性別、年代、居住地、免許保有状況、スマートフォン保有状況

(3)関係者（実証運行の運行事業者、住民協議会、町会等）へのヒアリング

運行事業者に対してヒアリングを行い、供給者側の視点から運行の実態や運行管理上の問題点を把握するとともに、利用実態を定性的に把握する。また、オペレーター実施事業者に対して、予約受付・管理・配車の実態・問題点等を聞き取る。

井の頭地区の住民組織・団体等へヒアリングを行い、利用促進活動の実施状況や、社会実験の周知浸透状況、利用実態、運行上の問題点などを把握する。

表 ヒアリング対象と把握項目（案）

ヒアリング対象	把握項目
運行事業者	○現状の運行状況と問題点 →ルート、時間帯などの運行状況と問題点 →人員、車両数などの管理状況と問題点 ○運行の効果 →実証運行開始による利用者への効果 ○今後の運行継続に対する意見 →実証運行終了後の運行継続に対する事業者の考え ○運行に関する安全性 →実証運行に対する運行方法や車両など安全面について検証
オペレーター事業者	○予約受付、管理状況 →管理者とオペレーターなどの予約受付及び管理体制の状況と問題点 ○現状の予約状況と問題点 →電話予約、スマートフォン予約の際の問題点 ○今後の運行継続に対する意見 →実証運行終了後の運行継続に対する事業者の考え
地域団体 (住民協議会、町会、 ケアネットなど)	○周知PRに向けた取組状況 →実施済み、実施中の周知PRの活動内容。周知PRを実施した際の問題点。 →実施できなかった周知PRの活用内容とその理由 ○利用者や地域住民からの声 →地域に入ってきている利用者や地域住民の声 ○今後の運行継続に対する意見 →実証運行終了後の運行継続に対する地域の考え

利用者アンケート調査項目（案）

表 設問文と選択肢

把握項目	設問文	選択肢
調査日の利用状況	本日の外出目的を教えてください	買物、通院、習い事、集会、通学、通勤、業務、観光・レジャー、知人と会う、銀行・郵便局等、その他
	買物先で支払う1回あたりの金額を教えてください	およそ_____円
	乗車場所、外出の目的地（施設名）を教えてください	自由記入
	今日利用した交通サービスの利用頻度を教えてください。	週に5回以上、週に2～4回程度、週に1回程度、月に数回程度、初めて利用した
	往復利用の状況を教えてください。 行きのみの方は帰りの交通手段、帰りのみの方は行きの交通手段を教えてください。	【往復利用状況】 往復利用、行きのみ利用、帰りのみ利用 【行きまたは帰りの交通手段】 徒歩、路線バス、タクシー、自転車、鉄道、その他
	乗車した時間帯を教えてください。	【行き】____時台 【帰り】____時台
	“今日利用した交通サービス”から他の公共交通へ乗り継ぎされましたか	路線バス、鉄道、その他、乗り継いでいない
導入効果	実証運行前（2024年5月以前）における今日の外出先への交通手段を教えてください。	徒歩、自転車、路線バス、みたかシティバス、小型EVバス、タクシー、家族や知人の送迎、その他、交通手段がなかったため行けなかった
	実証運行開始によって、外出頻度は増えましたか	増えた、変わらない、減った、分からない
	実証運行開始によって、日常の生活範囲は広がりましたか	広がった、変わらない、狭くなった、分からない
運行見直しの効果	運行見直し前（2024年5月以前）における今日の外出先への交通手段を教えてください。	徒歩、自転車、路線バス、みたかシティバス、EVバス、大沢デマンド、タクシー、家族や知人の送迎、その他、交通手段がなかったため行けなかった
	運行見直しによって、外出頻度は増えましたか	増えた、変わらない、減った、分からない
	運行見直しによって、日常の生活範囲は広がりましたか	広がった、変わらない、狭くなった、分からない
	運行見直し後（2024年5月以降）に公共交通を使って行くようになった外出先を教えてください。可能であれば具体的な施設名等を教えてください。	市内の施設（施設名_____）、 市外の施設（施設名_____）

把握項目	設問文	選択肢
利用者からの評価	次の項目について、満足度と重要度を教えてください。 →目的地までの所要時間の短さ →運行ルートのわかりやすさ →乗降のしやすさ →車両の快適さ →乗降ポイントまでの距離 →運行時間帯の適切さ →運賃価格の適切さ →運行台数の多さ →時刻表の分かりやすさ →時刻表どおりの運行 →総合的な満足度	各項目について、満足度と重要度を回答 【満足度】 満足、やや満足、普通、やや不満、不満 【重要度】 重要、やや重要、普通、やや重要ではない、重要ではない
	本日利用した交通サービスの内容について、改善してほしい点があれば、教えてください。	(自由回答)
基本属性	性別を教えてください	男性、女性、回答しない
	年齢を教えてください	____歳
	住まいを教えてください ※三鷹市内にお住まいの方は字、丁目を教えてください	三鷹市 ____丁目、市外
	就業・就学状況を教えてください	会社員・公務員、自営業、パート・アルバイト、専業主婦・主夫、小学生、中学生、高校生、大学・短大・専門学校生、仕事をしていない、その他
	免許保有状況を教えてください	運転免許を持っている、運転免許を返納した、運転免許を返納予定である、運転免許を所有したことがない
	シルバーパスをお持ちですか	持っている、持っていない
	スマートフォンまたはタブレットの保有状況を教えてください。	持っている、持っていない